

麻生区区民会議 第8回企画部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年5月7日（火）午後7時00分～午後8時47分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[企画部会委員]
金光部会長、田中副部会長、石井委員、菅原委員、村主委員、高倉委員、東川委員
[事務局]
鈴木企画課課長、白石担当係長、麻生
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料
 - ・資料1 区民会議ニュースVol.3発行スケジュール
 - ・資料2-1 安全・安心のまちづくり部会議事要旨
 - ・資料2-2 安全・安心のまちづくり部会全体会議資料（案）
 - ・資料2-3 区民会議フォーラムについて（案）
 - ・資料3-1 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 議事要旨
 - ・資料3-2 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会検討経過資料
 - ・資料3-3 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会全体会議資料（案）
 - ・資料4-1 第4回麻生区区民会議資料（案）
 - ・資料4-2 第4回麻生区区民会議企画部会資料（案）
 - ・資料5 第1回区民会議フォーラムスケジュール（案）
 - ・資料6 平成24年度区民会議交流会の報告
 - ・資料7 平成25年度地域課題対応事業一覧

6 議 事

(1) 区民会議ニュース第4期 Vol.3 発行について

【決定事項】

- ・9月に開催される第1回区民会議フォーラムの案内、第4期第4回区民会議（全体会議）の結果報告、若者部会の記事を掲載する。
- ・安全・安心のまちづくりのフォーラムの案内を掲載するため、通常よりも発行時期を1カ月遅くし、7月末までに各町内会・自治会へ配送する。（8月に区民へ周知する。）
- ・記事に関しては、昨年度に引き続き、田中副部会長が「たたき台」を作成し、企画部会にて調整する。

【主な意見】

- ・若者部会では各関係機関にヒアリングを予定しているが、発行までにまとまらない可能性がある。間に合わない場合は、審議の状況を記事にしたい。
- ・区民会議側が伝えたい情報と読み手が求める情報が異なる場合があるので、多くの方に読んで頂けるよう読者の視点にたって、記事をまとめたい。
- ・他の区ではカラーで出していたところもあったが、カラーでもできるのか。
→区民会議予算の大枠の配分はどの区も同じ。それを何に使うのかは各区の区民会議の判断になる。

(2) 専門部会について

ア. 安全・安心のまちづくり部会

高倉副部長から審議状況について報告がなされた。

- ・テーマに対する取り組みの一つとしてモデル事業の実施を検討した。
- ・モデルの対象をマンションと戸建てに住む世帯とし、家具転倒防止を中心に実際に対策を行う。モデル事業の成果は、区民に発表する。
- ・家具転倒防止の対策は、大学の教授など、専門家の助言を得て、取り組みたい。ゼミの学生が参加いただけるとありがたい。
- ・モデル事業の最終的な目標は、防災対策の普及啓発にとどまらず、実際に区民に行動を起こしてもらうこと。

【主な意見】

- ・モデルの対象となる世帯はどのように選定するのか。
→自主防災組織を中心に検討している。具体的には、マンションと一般家屋、それぞれ10世帯を予定している。
- ・自主防災組織と町内会・自治会は兼ねているところが多い。防災に関心の高い町内会を中心に当たってみてはどうか。
- ・区民に対して、取り組み成果の報告はどのような形で行うのか。
→モデル事業の対象となった世帯に感想を聞くなど実施状況を記録にまとめ、それを区民に発表する。どのような表現にするかは、検討の段階。(DVDや小冊子など)
- ・モデル事業に留まらずに、どのように広げていくのが、この事業のポイントになる。

イ. 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会

石井部長から審議状況について報告がなされた。

- ・芸術・文化のまちづくりと子育てしやすい環境づくりの2つのワーキンググループでテーマに取り組んでいる。

(芸術・文化)

- ・景観形成基準について、改正の動きが進んでいる。区民会議として今後も注視したい。
- ・芸術文化の広報活動が難しい。点から面へ情報のネットワークをつなげていきたい。
- ・芸術文化団体へのヒアリングに若者に関する項目を新しく追加した。
- ・団体のヒアリングの後に、行政に対してもヒアリングを行う。また、これらの結果を踏まえて、最後に実際、商店で働く若者や区内の大学生と情報交換し、芸術文化をどう活用するのか、取り組んでいく。

(子育て)

- ・幼稚園・保育園に入る前の未就学児を持つ親の課題を確認し、解決策を提案したい。
- ・ヒアリング実施に向けて検討を重ねている。ヒアリング対象は子育て支援センターや自主グループ、ボランティア等、多岐に設定している。
- ・ヒアリングを通して、行政が取り組んでいるものとは他に、何ができるのかを検討し、また、他都市の状況も調査しながら、課題に取り組んでいく。

【主な意見】

- ・若者が住みたくなるまちの要素として、戦略的に麻生区の強みである芸術文化を打ち出しているの、それを明確に表現することが望ましい。
- ・若者部会の問題は多岐にわたる。少子化の中で子どもをどのように育てるのか、子育てをしやすいような街とは。住みたいと気持ちを起こさせる要因は何か。
- ・若い世代の間ではタワーマンションが流行している。10年、20年後過疎化しない環境づくりとは何か。
- ・先日「0歳からのオーケストラ」のイベントがあり、満席であった。そこで、芸術・文化と子育てに結びつきがあることを実感した。
- ・生活の質の問題。麻生区は芸術・文化に関心が高い区民が多いという点も、他の都市とは異なる特徴である。
- ・個々の中でヒアリングしても結果は出ない。他の都市とまず比べて、そこで、川崎市の場合はどうか、麻生区でみた場合はどうか、検討していく必要がある。
- ・横浜市の事例では、保育コンシェルジュの導入等、行政がきめ細かい対応をしている。
- ・働く女性、男の育児などの問題を併せて検討する必要がある。

(3) 第4回区民会議について

区民会議の進行について、事務局より説明し、また、企画部会に関する資料、フォーラムスケジュールを確認した。

フォーラムスケジュールに関連して、会議に途中参加した村主部会長（安全安心部会）より、フォーラムについて安全安心部会が検討した内容について報告がなされた。

- ・開催月日の第1候補は9月7日（土）午後。予備日は9月8日（日）。
- ・区民会議報告、講演（2名）、参加区民との意見交換で構成。
※9月の時点ではモデル事業などまだ途中の段階ではあるが、第3期区民会議の9月のフォーラムも同様の形式であった。
- ・現在、打診を予定している講師は、園田先生と目黒先生の二人。
※園田先生はモデル事業の指導について、打診中。返事はまだであるが、引き受けていただければ、モデル事業の準備などについても、助言いただけると思われる。
※目黒先生は川崎市防災対策検討委員会委員長。防災力の内、「防災抑止力」を専門としており、安全安心部会のテーマに沿った内容で講演していただけるとと思われる。
→園田先生、目黒先生に打診する旨、承認。調整がつかない場合は、安全安心部会で別の防災に関する専門家にあたる旨、確認した。

(4) 平成24年度区民会議交流会の報告について

金光部長より報告。資料の量が多いので、全体会議では日時、場所、内容を要約して説明する旨、確認。

(5) 平成 25 年度地域課題対応事業一覧について

事務局より、今年度の地域課題対応事業について資料を元に説明。担当の課が、毎年、予算要求して事業に取り組んでおり、事業一覧については区のホームページで公開している旨、説明。

【主な意見】

- ・事業の採用基準があいまいではないか。明確にした方がいいのではないかな。
- ・以前は、公開すらされていなかったが、区民の目に見えていないのではないかな。
- ・対応事業と解決型提案事業の違いがわかりにくい。同じテーマに取り組んでいる団体にとっては不公平に感じる。
- ・区民会議の提案を反映させるための 1 つの手法として捉える見方もある。

(6) 地域課題解決型提案事業「麻生区里山ボランティア」の継続について

事務局より説明。今年度採用された地域課題解決型提案事業は他にもあるが、区民会議の企画から出た事業として、全体会議で紹介する旨説明。(併せて、団体の名称が「里ボラの会」に変更になった旨、確認。)

※事務局が準備した調査審議状況資料(案)について、委員が把握していない事項があった。

議論が一人歩きしたり、誤解を生みださないよう、資料が公開される前には、各部会内で十分審議を行う必要がある旨、確認した。

次回部会：6月3日(月) 19時～

以上